

## 上田市行財政改革推進委員会 会議概要

1	審議会名	第2回 上田市行財政改革推進委員会 財政基盤・経営体制改革部会
2	日時	平成23年9月16日(金) 午前10時から正午まで
3	会場	上田市役所ひとまちげんき・健康プラザうえだ2階 第1会議室
4	出席者	依田部会長、小林副部会長、増澤委員、石巻委員、金山委員、半田委員、堀内委員
5	市出席者	関行政改革推進室長、西澤係長、市川主査、宮沢主査
6	会議概要作成年月日	平成23年9月25日

### 協議事項等

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議事
  - (1) 前回は議録の確認について
  - (2) 財政基盤・経営体制の改革について  
(事務局)・財政基盤・経営体制改革の骨子について説明  
(委員) 大綱の基本方針に、意識改革の項を付け加えたということだが、意識改革は行政だけでなく市民にも必要なことなので、市民への啓発を図るといふより、行政と市民を対等な立場で意識改革をするという表現にした方がいいと思うが。  
(事務局) この大綱そのものが行政の計画のため、行政として市民へ働きかけるという表現になっている。  
(委員) もう少し市民も意識を高めるような書き方であってもいいと思う。それが自治基本条例の理念でもあると思う。  
(委員) 意識改革は行政だけでなく市民も一緒にしなければならないと思うので、職員と市民の意識改革を一緒に取り組んでいく、という表現にしたらどうか。  
(事務局) 表現を検討させていただきたい。  
  
(部会長) 大綱の体系についてご意見をいただきたい。  
(委員) 中長期的な財政見通しの策定と予算編成方法の改革とは、企業会計を取り入れるということか。  
(事務局) 国からは、新地方公会計制度を提案されている。  
上田市は、総務省方式に沿って公開しているが、制度自体国で検討中の部分も多いため、はっきりしたものが示されるまでは、総務省が示したモデルに沿って対応している。  
行政は単式簿記のため資産が表れてこないため、複式簿記にすることによって資産を管理しようとするもの。  
(委員) 土地開発公社が保有している土地についてもバランスシートに出てくるのか。  
(事務局) 連結として出てくる。  
(委員) 未利用資産の売却は、もっと積極的に行うべき。行政だからしょうがないという話にはならない。  
(事務局) 未利用資産の活用ということであれば、売却が難しければ一時的にでも賃借するなどの活用を図っていかなければならない。  
(委員) その点については、自主財源の確保ということからも行財政改革として進めなければならない。

(委員) 現在は、人口減少や土地の下落もある。企業からの税収も増えない中で、このあたりの数字を公表していけば市民も驚くと思うが、事実もしっかり市民に伝えていくことも大切だと思う。

(委員) 自主財源の確保では、収納率の向上についても触れておかなければならないと思う。

(事務局) そのようにさせていただきたい。

(委員) 塩漬けになっている土地についても、やはり中長期的な視点での管理も必要だと思う。

(事務局) ご指摘のとおり、行政にも経営という概念を取り入れていかなければいけない。

(委員) 自主財源の確保の中で、行政委員会委員の報酬の見直しとあるが、その背景は何か。

(事務局) ひとつは、報酬の年額、月額、日額での違いがあるが、仕事量に関わらず月額となっているものがあり、裁判になっている例もあることから、その是非を検討しなければならないと考えている。

(委員) 内容をよく精査し、報酬が上がったとしても適正に検討してもらえればいいと思う。

#### 4 その他

次回委員会 平成23年10月4日(火) 午前10時から

\* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

\* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。